

日野市租税教育推進事業補助金 事業収支決算書

- ・ 第5号様式に添付してください
- ・ 1事業ごとに作成してください

記入例

事業名称	みんなで学ぼう税金教室		
補助対象事業	<input checked="" type="checkbox"/> 学校と連携して実施する事業	補助率1/2	上限40,000円
	<input type="checkbox"/> その他の事業	補助率1/2	上限5,000円

1 収入

(単位：円)

区分	事業予算・補助金等内容	予算額※
事業費 (A)	みんなで学ぼう税金教室事業費	26,338
事業費以外 (B)	事業収入 (利用者からの収入等) 内容：	0
	事業費に対する補助金 (他機関からの事業費に対する補助金。運営費除く) 名称： 東京都〇〇事業補助金	10,000
	B合計	10,000
事業費以外 (C)	日野市租税教育推進事業補助金	23,662
収入合計 (A+B+C)		60,000

※事業費(A)の予算額は収入合計から事業費以外(B)及び(C)を差し引いた額を記入してください

2 支出総額 (D) 60,000 円 (補助対象経費以外も含めた総額)

3 補助対象経費支出明細

(単位：円)

項目	内容	内訳	合計
交通費	講師交通費	1,000円×2人×8回	16,000
印刷製本費	資料印刷代	300枚×100円×1.1=33,000円 日野市分240枚 80%相当	26,400
消耗品費	パネル	500円×10枚×1.1	5,500
消耗品費	ガムテープ	250円×3個×1.1	825
消耗品費	付箋	200円×5個×1.1	1,100
通信運搬費	資料配送代	〇〇配送	1,500
報償費	図書カード	3000円×2枚	6,000
		支出合計 (E)	57,325

※収入、支出ともに日野市対象分のみで計上してください。

日野市対象分以外が含まれ、金額の抽出が困難な場合は按分等により日野市相当分を算出してください。その際は按分率の根拠となる資料を添付してください。

※領収書(写し可)を添付してください。

4 補助金交付申請額 (E-B)×1/2 小数点以下切り捨て 上限40,000円

23,662 円 この額を申請書に計上してください

記入にあたっての注意

【補助対象事業】該当する事業の□を塗りつぶしてください

1 収入

本事業を実施するために係る経費です。収入合計と後述の2.支出総額は同額となります

【事業費（A）】

▶収入合計から事業費以外（B）及び（C）を差し引いた額を記入してください

【事業費以外（B）】

- ▶事業収入：参加者からの会費徴収、物品の販売収入等の内容及び数量等を記入してください
- ▶事業費に対する補助金：本補助金以外で他機関からの補助金を記入してください
- ▶運営費ではなく事業費に対する補助金のみ対象となります。

【事業費以外（C）】本補助金の申請額を記入してください

2 支出総額

「3 補助対象経費支出明細」で対象外となった経費も全て含めた本事業全体の支出額です

3 補助対象経費支出明細

- ▶本事業の支出予定の項目のうち、本補助金の対象経費分を抽出して記入してください
- ▶対象経費：報償費、交通費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、保険料、使用料
- ▶日野市対象分のみ計上してください

日野市分のみ見積書を取得するのが困難な場合は、日野市相当分を按分により算出して記入してください。その際は領収書や別紙に記載し、内訳がわかるようにしてください

（例：印刷製本費） $300\text{枚} \times 100\text{円} \times 1.1 = 33,000\text{円}$ のうち日野市分240枚のとき

内訳に「 $300\text{枚} \times 100\text{円} \times 1.1 = 33,000\text{円}$ 日野市240枚 80%相当」、合計に「26,400円」を記入してください

- ▶領収書の添付について

領収書の添付は必須です。申請時に単価が3万円以下のため見積書の添付を省略したものについても必ず領収書を添付してください

- ▶人数に応じて支出する経費（交通費等）は受領者の氏名や人数がわかる名簿等を添付してください

4 補助金交付申請額

- ▶支出合計（E）から事業費合計（B）を差し引いた額に $1/2$ を乗じてください
（小数点以下切り捨て）
- ▶上限額は実施する補助対象事業ごとに異なります
 - ・学校と連携する事業 上限40,000円
 - ・その他の事業 上限5,000円
- ▶複数の事業がある場合、実績報告書には各補助金交付申請額を合計した額を記入してください